



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社

コード番号 4099 URL <http://www.shikoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O. (氏名) 山下 矩仁彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 企画・管理担当 (氏名) 富田 俊彦

TEL 0877-22-4111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,881	9.0	3,063	9.2	3,248	19.2	2,071	28.2
25年3月期第2四半期	21,000	2.5	2,804	△0.9	2,725	△0.4	1,615	2.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,646百万円 (290.4%) 25年3月期第2四半期 677百万円 (△43.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	35.45	—
25年3月期第2四半期	27.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	64,161	43,985	68.2
25年3月期	64,304	41,694	64.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 43,747百万円 25年3月期 41,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	8.2	6,200	17.8	6,400	15.9	4,000	25.0	68.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	58,948,063 株	25年3月期	58,948,063 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	502,807 株	25年3月期	500,462 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	58,446,579 株	25年3月期2Q	58,453,749 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
(継続企業の前提に関する注記).....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	11
(セグメント情報等).....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米諸国における財政問題や新興国での経済成長鈍化などの不安要素もあり、依然として先行き不透明感は残りましたが、新政権による大胆な金融緩和や財政出動を背景に、過度な円高が修正され、企業業績や消費動向に改善の兆しが見られるなど、徐々に景気回復に向けた動きが見られるようになりました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の売上高は228億81百万円（前年同期比9.0%の増収）となりました。

また、利益面におきましても、営業利益は30億63百万円（前年同期比9.2%の増益）、経常利益は32億48百万円（前年同期比19.2%の増益）、四半期純利益は20億71百万円（前年同期比28.2%の増益）と、いずれも前年を上回る結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、輸出が好調に推移したことに加え、円安の影響により収益性も向上しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は、輸出が好調に推移しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、調達価格の上昇により収益性が低下しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、海外市場における販売が堅調に推移したことに加え、円安の影響により採算性が改善しました。排水処理剤ハイポルカは市場開拓と採算性の改善に注力しました。

（ファイン ケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは、販売量が伸び悩みましたが、円安の影響により収益は順調に推移しました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、輸出を中心に販売が好調に推移したことに加え、円安の影響により収益性が向上しました。

この結果、化学品事業の売上高は141億26百万円（前年同期比11.1%の増収）、セグメント利益は29億45百万円（前年同期比20.1%の増益）と、いずれも前年を上回りました。

②建材事業

（壁材）

湿式壁材市場の停滞により、内装材を中心に低調に推移しました。

（エクステリア）

民間工事、官公庁工事等の建設工事受注や新設住宅着工の持ち直しを背景に、住宅分野、景観分野ともに、前年を上回る水準で推移しましたが、資材価格の高騰などにより収益性が低下しました。

この結果、建材事業の売上高は83億35百万円（前年同期比5.0%の増収）と、前年を上回りましたが、セグメント利益は8億87百万円（前年同期比12.6%の減益）となりました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	4,638	5,623	121.2
有機化成品 (百万円)	3,996	4,312	107.9
ファイン ケミカル (百万円)	4,080	4,190	102.7
小計 (百万円)	12,715	14,126	111.1
建材事業			
壁材 (百万円)	1,255	1,231	98.1
エクステリア (百万円)	6,684	7,104	106.3
小計 (百万円)	7,940	8,335	105.0
報告セグメント計 (百万円)	20,655	22,462	108.7
その他 (百万円)	345	419	121.4
合計 (百万円)	21,000	22,881	109.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	3,632	17.3	4,581	20.0
北米	2,146	10.2	2,447	10.7
その他の地域	388	1.9	676	3.0
合計	6,167	29.4	7,705	33.7
連結売上高	21,000		22,881	

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比1億42百万円減少し、641億61百万円となりました。主な増加は、投資有価証券10億73百万円、建設仮勘定6億75百万円、主な減少は、受取手形及び売掛金15億84百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比24億33百万円減少し、201億75百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金18億38百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比22億90百万円増加し、439億85百万円となりました。主な増加は、利益剰余金17億21百万円、その他有価証券評価差額金5億6百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.5%から68.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、22億86百万円(前年同期比10億44百万円の減少)となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益32億32百万円、売上債権の減少額16億50百万円、減価償却費8億29百万円、一方で主な支出項目は、仕入債務の減少額19億36百万円、法人税等の支払額11億81百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、13億28百万円(前年同期比7億15百万円の減少)となりました。主として、有形固定資産の取得による支出8億57百万円、投資有価証券の取得による支出2億63百万円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、7億85百万円(前年同期比77百万円の増加)となりました。主として、長期借入金の返済による支出5億36百万円、配当金の支払額3億50百万円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、101億77百万円(前連結会計年度末比2億30百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しました。

従いまして、通期の連結業績予想は、平成25年7月26日に公表いたしました平成26年3月期通期の連結業績予想を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、95円/米ドル、120円/ユーロと想定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

役員退職慰労金制度の廃止

当社は、平成25年6月25日開催の第93回定時株主総会において、役員報酬体系の見直しの一環として、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給(支給の時期は各取締役及び監査役の退任時)を決議いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の役員退職慰労引当金全額を取り崩し、打ち切り支給に伴う未払額2億62百万円を固定負債のその他に含めて表示しております。

なお、当社の連結子会社については、役員退職慰労金制度が存続しており、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内部規程に基づく当第2四半期連結会計期間末要支給額を役員退職慰労引当金に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,041	10,275
受取手形及び売掛金	14,308	12,724
商品及び製品	6,108	5,810
仕掛品	94	103
原材料及び貯蔵品	2,131	2,211
繰延税金資産	739	708
その他	72	112
貸倒引当金	△7	△3
流動資産合計	33,489	31,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,942	4,848
機械装置及び運搬具(純額)	3,579	3,319
土地	8,325	8,379
建設仮勘定	637	1,312
その他(純額)	438	465
有形固定資産合計	17,923	18,326
無形固定資産	246	397
投資その他の資産		
投資有価証券	11,158	12,232
繰延税金資産	881	618
その他	616	658
貸倒引当金	△11	△14
投資その他の資産合計	12,645	13,493
固定資産合計	30,814	32,217
資産合計	64,304	64,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,973	7,134
短期借入金	1,950	2,000
1年内返済予定の長期借入金	757	438
未払法人税等	1,105	1,069
役員賞与引当金	63	31
その他	3,649	3,470
流動負債合計	16,498	14,144
固定負債		
長期借入金	1,798	1,681
繰延税金負債	0	17
再評価に係る繰延税金負債	1,549	1,549
退職給付引当金	1,887	1,842
役員退職慰労引当金	322	64
資産除去債務	346	347
その他	206	528
固定負債合計	6,110	6,031
負債合計	22,609	20,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	26,469	28,191
自己株式	△294	△295
株主資本合計	38,785	40,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	1,367
繰延ヘッジ損益	△69	△39
土地再評価差額金	2,080	2,080
為替換算調整勘定	△190	△166
その他の包括利益累計額合計	2,681	3,242
少数株主持分	227	238
純資産合計	41,694	43,985
負債純資産合計	64,304	64,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	21,000	22,881
売上原価	13,232	14,417
売上総利益	7,768	8,463
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,502	1,670
広告宣伝費	350	349
給料	929	975
役員賞与引当金繰入額	27	31
退職給付費用	91	112
役員退職慰勞引当金繰入額	22	14
研究開発費	497	536
その他	1,542	1,710
販売費及び一般管理費合計	4,963	5,400
営業利益	2,804	3,063
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	138	225
為替差益	—	2
雑収入	18	27
営業外収益合計	162	262
営業外費用		
支払利息	18	13
売上割引	58	59
為替差損	162	—
雑損失	1	4
営業外費用合計	241	77
経常利益	2,725	3,248
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	50	—
新株予約権戻入益	39	—
特別利益合計	90	0
特別損失		
固定資産除却損	8	16
投資有価証券評価損	85	—
特別損失合計	93	16
税金等調整前四半期純利益	2,722	3,232
法人税等	1,098	1,152
少数株主損益調整前四半期純利益	1,623	2,079
少数株主利益	7	7
四半期純利益	1,615	2,071

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,623	2,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△960	512
繰延ヘッジ損益	43	30
為替換算調整勘定	△28	24
その他の包括利益合計	△945	567
四半期包括利益	677	2,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	679	2,633
少数株主に係る四半期包括利益	△1	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,722	3,232
減価償却費	863	829
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△76	△44
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△257
受取利息及び受取配当金	△143	△232
支払利息	18	13
投資有価証券評価損益(△は益)	85	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△0
新株予約権戻入益	△39	—
受取保険金	△50	—
有形固定資産除却損	8	16
売上債権の増減額(△は増加)	1,526	1,650
たな卸資産の増減額(△は増加)	244	240
仕入債務の増減額(△は減少)	△980	△1,936
その他	△87	△261
小計	4,095	3,250
利息及び配当金の受取額	142	232
利息の支払額	△18	△14
保険金の受取額	50	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△937	△1,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,330	2,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,779	△857
有形固定資産の売却による収入	—	47
有形固定資産の除却による支出	△5	△6
無形固定資産の取得による支出	△11	△205
投資有価証券の取得による支出	△268	△263
その他	21	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,043	△1,328
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50	50
長期借入れによる収入	100	100
長期借入金の返済による支出	△432	△536
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△292	△350
その他	△30	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△707	△785
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	526	230
現金及び現金同等物の期首残高	7,660	9,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,186	10,177

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,715	7,940	20,655	345	21,000	—	21,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	109	110	△110	—
計	12,716	7,940	20,656	454	21,111	△110	21,000
セグメント利益	2,452	1,016	3,468	39	3,507	△703	2,804

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△703百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△703百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,126	8,335	22,462	419	22,881	—	22,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	122	123	△123	—
計	14,127	8,335	22,463	541	23,005	△123	22,881
セグメント利益	2,945	887	3,833	37	3,871	△808	3,063

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△808百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△808百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。